

【発行元】全国大学生協連関西北陸ブロック

開催概要

日程：2020年10月3日(土),4日(日)

媒体：Zoom

獲得目標

- ①大学生協は組合員の組合員による組合員のための組織であることを理解する。
- ②学生委員会・組織部の位置づけを知ったうえでこれからの活動に反映できるようにする。
- ③連帯（エリア・ブロック）について知り、活動の幅広さからこれからの活動にワクワクする。

参加者（カッコ内は人数）

近畿大(4)、大経大(2)、阪南大(1)、阪電通(5)、樟蔭女(12)、大阪大(3)、和歌山(5)、阪市大(4)、兵県大(7)、神高専(1) **計10会員44名**



XX 新たな一歩を 踏み出すきっかけに

再スタートの意味を込めて

今回「大学生協は組合員のための組織であることを理解する」「学生委員の位置づけを知り活動に反映できるようになる」等の獲得目標を掲げ、1・2回生が共に学べる秋セミナーを開催しました。さらに今年は前期に活動がなかなかできなかったこと、エリアでの学び合いの場があまりなかったことから、秋から頑張ろうという意味を込め、「Re:start」のテーマを設けています。

秋のテーマ

Re:start～みんなわくわく組合員～

（組合員＝大学生協の一員）

- ・例年通り活動ができなかった
- ・エリアでのセミナー等が少なく、動き出すきっかけがあまりなかった

秋から頑張ろう！！再出発だ～！！

01 協同組合が何なのか 変遷からたどってみよう

よりよい生活と平和の大切さ

大学生協はどうしてよりよい生活と平和を目指しているの？ということから、タイムスリップをして協同組合の起りを知りました！1840年代のロッヂデールでの生活を想像し、自分たちの力で生活を守る良さを体感しました。また、平和でないとよりよい生活を目指せないこともこの時間で学習しました。

秋のつまりはさ。

昔も今も大学生協は
「よりよい生活と平和」を目指してる

土台：平和な状態

「組合員のための組織であるために、組合員自身が「よりよい生活を送りたい」と思う意識が重要になるのだと思った。」アンケートより

02 大学生協ってどんなところ？ 声と参加がキーワード

組合員が主体となる組織だよ

今回の秋セミナーでは学生委員も組合員という視点大切にしようというポイントのもと、充実した生活を送るため出てきた願いを学生の声、1つの目的を実現しようとするための参加が大学生協には不可欠だという話がありました。組合員の声と参加から大学生協の方向性が決まることはこれから活動をする上でも忘れず大切にしてほしいです。

秋の大学生について



「組合員の声（ニーズ）に常に耳を傾け、組合員のための組織であることを心がけていきたい。」アンケートより

03 1人1人の力を活かし 協同を実感する時間

私とあなたが一緒ならできることが広がるわ

大学生協は「協同」をもとに成り立っている組織ということを知りました。では協同とはどんなことなのか、それをこの時間のワークで、1人1人のできることを掛け合わせ、ものごとを成し遂げました。

発展編として自大学での「協同」を振り返ってみることをお忘れなく！

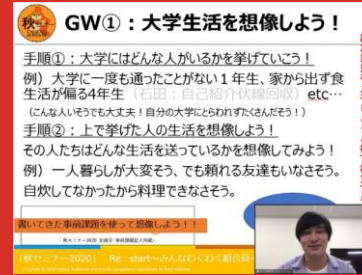


「それぞれができることをやって1つの目標に向かってやるということが大学生協の基本だと改めて学び、意識し直すことができました。」アンケートより

04 今の大学生協から 学生の役割を考えてみる

そんなあなたは学生という大切な存在

大学生協がどういう場なのか学びましたが、では今の大学生協はどんな現状や課題があるのかということ、周りの組合員の現状から考えました。そして専務が考える学生の役割から、私たち学生が大学生協でどのような役割が果たせるのか考えてみました。



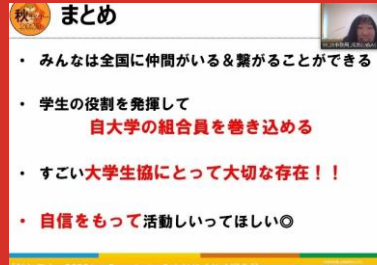
「生協組織部の一員でもあり、組合員という立場でもあるのだということ踏まえて、学生目線から組合員のサポートをしていきたい。」アンケートより

05 学生委員の可能性は 無限大∞

GIじゃなくても生きていける。
けど私はGIの道を選んだから・・・

大学生協の中での学生委員会・組織部の立ち位置を確認し、学生の役割を發揮したり組合員の声を具現化したりと学生委員会は主体的に組合員を巻き込める存在であることを知りました。

さらに、学生委員会として活動してきた先輩の話聞き、活動をより具体的に前向きに捉えることができました！



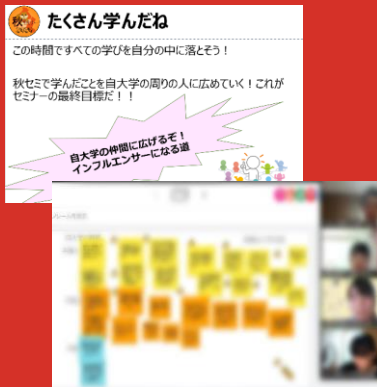
「自分が送っている生活、大学生が一般的に送っている生活はほとんど、学生委員会できりよくできるといことがわかりました。」アンケートより

06 大学ごとでアウトプット 「私は〇〇を頑張ります！」

みんなと頑張る！そのために・・・

秋セミナーで学んだことを自分のものにするため、大学ごとに集まりこの時間でたくさんアウトプットしました。さらに、学びを自大学で活かすためにもまず何をするか宣言し、多くの人を巻き込むためにも自大学の誰に学びを共有するかまで考えました。

秋セミナーに参加し、学んだことを元に多くの人と一緒にこれからの活動の一步を踏み出しましょう！



オンラインのセミナーということなかなか慣れない2日間でしたが、最後の自大学の時間ではたくさん学びのアウトプットをし、笑顔が絶えない時間となりました。

学びを持ち帰ろう！

秋セミナーに参加し、たくさん気付いたことや周りに伝えて頑張りたいと思ったことは、ぜひ自大学で一緒に頑張る仲間へ伝えましょう！
文責：ブロック学生事務局 [乾 運 可]

